

第25回 放送番組審議会議事録

2019年9月12日

株式会社シーエス・ワンテン
株式会社テレビ朝日

1. 開催年月日 2019年9月11日 水曜日 午前10時30分～12時00分

2. 開催場所 株式会社テレビ朝日本社8階特別会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名 出席 7名 書面参加 1名 欠席 0名

出席委員の氏名

委員長	池井 優	(慶応義塾大学 名誉教授)
委員	石田 則明	(無線システム研究所 代表)
委員	黒鉄 ヒロシ	(漫画家)
委員	高木 美也子	(東京通信大学 人間福祉学部教授)
委員	戸張 捷	(株式会社ランダムアソシエイツ 代表取締役)
委員	藤田 興彦	(児童育成協会 理事長)
委員	元村 直樹	(国立映画アーカイブ 客員研究員)

<書面参加>

委員	丹羽 美之	(東京大学大学院 情報学環准教授)
----	-------	-------------------

放送事業者側出席者氏名

株式会社シーエス・ワンテン

代表取締役社長	福田 泉
業務推進本部長	渡辺 慎一

株式会社テレビ朝日

総合編成局総合編成部 部長	榊原 誠志
総合編成局総合編成部 インターネット担当部長	前田 健太郎
総合編成局総合編成部	柿野 陽
スポーツ局スポーツセンター	富田 潤一郎
総合ビジネス局CS事業部 部長	岡本 恵理子
総合ビジネス局CS事業部 CS編成担当部長	谷 俊之

4. 議 題

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」、
「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」の番組について

5. 審議内容

◆テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ

『プリンスロード ～2019 ミュージカル大辞典～』番組審議◆

<番組内容>

「プリンスロード～2019 ミュージカル大辞典～」は、ミュージカルの今に迫る情報番組。ミュージカル好きのお笑い芸人・斉藤慎二（ジャングルポケット）と小南満佑子がMCを務め、ライターの町田麻子も“ご意見番”として参加する。第1弾として、斉藤が“今一番逢いたい人”である浦井健治と対談。また小南が4月から「レ・ミゼラブル」で共演する唯月ふうかとパンケーキ店で“同い年女子会”トークを繰り広げるほか、「銀河鉄道999 劇場版公開40周年記念作品 舞台『銀河鉄道999』さよならメーテル～僕の永遠」に出演する中川晃教と凰稀かなめに、高橋愛がインタビューを行う。さらに「レ・ミゼラブル」でミュージカルデビューを果たす斎藤司（トレンディエンジェル）のインタビューも盛り込み、CSならではのミュージカル通にはもちろん、まだミュージカルに触れたことのない人がみても楽しめる内容に仕上げた番組。

<委員意見>

- フィギュアスケートやバレエとの番組と親和性が高く、テレ朝チャンネルで扱うものとしては良いと思う。
- ミュージカルに特化したCSらしい番組。ミュージカル素人の私にも、今、活躍している俳優やどんな新作ミュージカルがあるのかがよく分かった。
- 世代が分かれてしまって文化の見る視点も分かれているため、今のミュージカルに興味を湧かない。往年のミュージカルを挟めばもっと楽しめると思う。
- チケットの取り方やダブルキャストの楽しみ方等、ミュージカル初心者に向けた解説があると良かったのではないかな。

◆テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ

『#バドミントン ～世界王者・桃田賢斗 SP～』番組審議◆

<番組内容>

現在、史上最強と言われるバドミントン日本代表。2018年は男女別の団体戦トマス杯ユーバー杯で女子が37年ぶりの優勝、男子が準優勝を飾ると、8月の世界バドミントンでは金メダル2個を含む史上最多6個のメダルを獲得。さらに、ワールドツアーの年間王者を決めるファイナルズでは出場した日本人選手がベスト4に進出するなど、日本バドミントン界にとって歴史的な1年となりました。来年に迫った東京五輪では全5種目でのメダル獲得が期待され、2022年には世界バドミントンが日本開催となるなど、今、バドミントンが大注目となっています。

世界バドミントンや全英OPなどのビッグタイトルを放送しているテレ朝ch2が、バドミントンをもっと知ってもらいたい、という思いを込めて3月に放送を開始した「#バドミントン」。4月放送回では、東京五輪でも金メダルが期待される世界王者・桃田賢斗選手の特集を放

送。バドミントンファンのみならず、たくさんの視聴者からご好評頂きました。

〈委員意見〉

- バドミントンに特化したCSらしい番組。競技人口も多く、日本選手も活躍しているので、注目する視聴者も多いと思われる。
- 桃田選手の紹介や実際の試合での強さ、スーパープレーを見せる等、OBによる強さの分析も興味深かった。
- なぜ彼が1位になったのか、どれほどの練習をこなしてきたのか、プレッシャー等の心の動きがどのように影響してくるのか、そういったものもあればさらに良かったと思う。
- 桃田選手の能力値を徹底分析する座談会が特に興味深かった。プロの目から見ると厳しい評価が多いのが、意外で新鮮だった。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた2019年9月11日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めています。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

2019年11月以降に、ホームページに審議会概要を掲載ともに、放送番組としても公表する予定です。

8. その他の参考事項

次回の放送番組審議会は2020年3月に開催予定。

以上

